病院名	北上済生会病院
研修科目名	循環器科

◇　研修目的

循環器疾患は、他科疾患に合併することも多く救急外来でも遭遇することが多い。
医師として求められる循環器疾患に関する基礎的知識と実践を研修し、合併する他の内科疾患の診断、治療についても習得することを目標とする。

◇　ＧＩＯ（一般目標）

病歴聴取と診察を確実に行い、基本的な検査を習得することにより循環器疾患の診断と初期治療ができる。

◇　ＳＢＯs（個別行動目標）

１．的確にバイタルサインをとり、重症度・緊急度の把握ができる。
２．心電図検査を自ら実施し、結果を解釈できる。
３．基本的な心エコー図検査を自ら実施し、結果を解釈できる。
４．病歴や諸検査の結果を解釈し、治療計画を立案できる。
５．心不全の診断ができる。
６．狭心症・心筋梗塞症の診断ができる。
７．大動脈解離・大動脈瘤の診断ができる。
８．一次及び二次救命処置ができる。
９．循環器疾患患者に対して、食事・運動・禁煙指導ができる。
１０．循環器疾患患者に対する多職種カンファランスを開催し、治療計画を立てることができる。
１１．循環器疾患に合併する睡眠呼吸障害について理解し、検査結果を解釈できる。

◇　教育に関する行事

	午前	午後
月	外来診療	病棟診療、PSG検査
火	病棟診療	病棟診療、心エコー図検査
水	病棟診療	外来診療（ペースメーカクリニック） トレッドミル運動負荷検査
木	病棟診療	冠動脈造影、ペースメーカ移植術
金	外来診療、心エコー図検査	病棟診療

※ PSG検査：終夜睡眠ポリグラフィー検査

◇　研修評価

１．心電図の判読
２．心エコー図判読
３．病歴の問診と記載内容の評価
４．循環器系薬剤の基本的知識の評価
５．基本手技の評価
６．ケースカンファランスに対する評価

◇　研修方法

１．病棟での病歴聴取・記載と基本的診療法を研修し、基本的診療法を習得する。
２．病棟患者の病歴や検査結果より、診断や治療方針を考える。
３．カンファランスで症例のプレゼンテーションを行う。
４．外来・病棟で病歴聴取と記載及び診療を行う。
５．採血・血管確保及び救命救急処置ができる。
６．退院サマリーを記載し、指導医のチェックを受ける。
７．負荷心電図検査、心エコー図検査を行う。
８．心臓カテーテル検査の知識と基本的手技を習得する。
９．ペースメーカ移植術の知識と基本的手技を習得する。

◇平成27年度指導責任者及び指導医

循環器科指導責任者　佐　藤　嘉　洋